

ボランティア活動に行く前にお読みください！

1) ボランティア活動の心構え

被災された方々の気持ちやプライバシーに十分配慮してください。

相手によって望んでいることは違います。自分に合わせて活動するのではなく、相手に合わせて無理強いしないように活動してください。

2) 活動するときの注意

○依頼者のお宅／避難所に着いたら

「久御山町災害ボランティアセンターから来ました」と伝え、依頼者に「依頼者へのご案内」を渡してください。そして、作業内容の確認をしてください。

○次のような時は、必ず災害ボランティアセンターへ連絡してください。

「ケガをした時」「体調が悪くなった時」「活動が危険または手に負えないと判断される時」「依頼された活動以外を頼まれた時」「判断に困った時」

連絡先：075-631-0022

- ① 活動中は、災害ボランティアセンターから来たボランティアとはっきり分かるよう、ガムテープに名前を書いて、体のわかりやすい位置に貼ってください。
- ② 安全に活動するためにも休憩をとりましょう（1時間に1回15分程度）
- ③ 安全には十分注意してください。建物内で裸足が危険なところは、土足でよいか確認してください。
- ④ 危険な作業、企業の営利行為、政治的・宗教活動への手伝いは断ってください。
- ⑤ 謝礼は受け取らないでください。
- ⑥ 昼食をはさんでの活動が見込まれる場合は、昼食を各自で調達してください。
- ⑦ 行動は、必ず2人以上でしてください。持ち場を離れる場合は、リーダーへ連絡してからにしてください。
- ⑧ ゴミが必要なものかどうか、きちんと依頼者に確認してください。また、ゴミの分別はきちんと行ってください。
- ⑨ 被災地でのカメラ等での撮影は控えてください。被災者のプライバシーを守りましょう。
- ⑩ マスコミ等からの取材に対しては、不確実な情報は話さないでください。マスコミ報道の影響力は大きく、間違った情報が流れると混乱の原因になります。

3) 活動が終わったら

- ① 活動は午後3時30分には終了してください。
- ② 依頼者に作業終了の確認をお願いしてください。明日以降の活動継続を希望されるかどうか、依頼者に確認してください。
- ③ センターへ活動終了の報告と、迎え(必要な方のみ)の連絡を入れてください。
- ④ 災害ボランティアセンターに戻り、資機材の返却、報告書の提出、活動の報告を行ってください。

よろしくお願いいたします。